



# 松ぼっくり



学校HP <https://tainai-tsuiji-es.edumap.jp/> e-mail [tsuiji-es@tainai.ed.jp](mailto:tsuiji-es@tainai.ed.jp)

学び合い 認め合い 鍛え合う子

令和6年4月11日 発行

## 子どもたちの新たなスタートを全力でサポートします

新しい校長 田村 稔



私が小学4年生の時のことです。算数の学習で割合についての授業がありました。担任の先生が言葉を尽くして説明してくれるのですが、まったくちんぷんかんぷん。頭の中で小鳥や星がピコピコ飛び交います。「まいったなあ」と周りを見てみると、他の子たちはふんふんとうなずいているので、どうやら理解できているようです。「わからないのは私だけだ」と切なくなって、先生の話を一息懸命聞こうとするのですが、聞けば聞くほど分かりません。そのうちにUFOまで飛び交うようになりました。そんな感じでのこの単元の学習は終了。翌年5年生に進級しますが、5年生でもやがて鬼門の割合の単元に入るわけですね。で、また分からない。

月日は流れ、中学校に進学しました。割合については分からないままです。私は「このままじゃいけない」と思いながら数学の先生の話聞くのですが、小学生時代の基礎ができていないので埒（らち）があきません。それでもやるしかないし、数学の先生が説明のために黒板に描いた図をノートに描き写し、割合の問題が出された時にはこの図を書いて、解くことに決めました。当時の私のノートを見れば、描いては消し、描いては消し、ぐちゃぐちゃに数字を書き込んだ奮闘努力の跡が見て取れると思います。何回も何回も図を描いて覚え、そこに問題文章の数字を書き込んで、機械的に立式することを繰り返していると・・・、なんとまあ！頭の中で割合の理解は進んでいないのですが、やがて正答を導き出すことができるようになりました。さらにこの手の問題を数多く解くことによって、問題を解く手順は覚えることができるようになりました。不思議なことに、そのうちに脳みそが発達し、割合の理解も進んでいったのです（この不思議はスイスの心理学者ピアジェの理論で説明できそうです）。割合の問題が滞りなく解決でき、さらに理解できるようになった時の喜びは筆舌に尽くしがたいものがありました。当時の私にとっては達成感とともに、自己肯定感もかなり上がったことと思います。

さて、令和6年度がスタートしました。昨年度まで、「うまくいったなあ」「できるようになったなあ」といういい思いを抱いて進級したお子さんは多いことでしょう。その一方で、「うまくできなかったなあ」「どうして自分はこうなんだろう」と忸怩たる思いを抱えているお子さんも少なくないと思います。4月は新たな自分になるための第一歩を踏み出す絶好の機会です。私たち築地小学校教職員一同、子どもたちの「あんなりたい」「こうになりたい」というチャレンジを全力でサポートし、子どもたちがなりたい自分になれるよう精一杯努めます。ご家庭の皆様、地域の皆様、学校に対するご意見ご要望をお知らせください。どうぞよろしくお願いいたします。

# 入学おめでとう！

4月9日に入学式を行いました。数年ぶりに全校児童がそろっての式でした。

今年度は23人の1年生が入学しました。行儀よく、あいさつや返事もとても上手にできました！



新入生入場



新入生の呼名



胎内市長様 祝辞



児童代表 歓迎の言葉

# 新年度がスタート！

4月8日から1学期がスタートしました。

新任式では、校長をはじめとした11人の新しい教職員から挨拶をし、6年生の代表児童が歓迎の言葉を述べてくれました。

始業式では、校長が「新たなチャレンジをすること」についての話をし、その後、ドキドキの担任発表がありました。



日々更新中！築地小学校ホームページをご覧ください！

<https://tainai-tsuiji-es.edumap.jp>

こちらのQRコードから→

